

因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏 連携事業進捗状況調書

連携中枢都市圏ビジョン懇談会

令和元年 11月21日

ア 圏域全体の経済成長のけん引

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値(H28)	目標値(R1)	9月末現在値	R1年度末見込		
1	ビジネスサポート体制検討事業	圏域全体の起業支援、産業育成のためのビジネスサポート体制の検討を進める。	【鳥取市】外国人留学生就労支援事業として、ビジネス課題を有する企業に、外国人留学生等の受入れを実施し、課題研究を行う。 外国人留学生地域就労支援事業・・・高い語学力や優れた国際感覚を有する外国人留学生に、圏域の経済成長を担う貴重な人材として定着・活躍してもらうことで、企業の国際競争力の強化や、新たな市場開拓・取引機会となる海外展開を促進。圏域の事業者と外国人留学生に対して準備セミナーや補助金支給などの伴走型支援を行う。 【八頭町】起業機運醸成セミナーのうち、隼アカデミーを実施 (7/11から12/5までに計6回予定) 【若桜町】企業誘致環境及び企業内コミュニケーションの向上を図るため、外国人就労者に対し、日本語講座・日本語検定にかかる費用を助成。	ビジネス課題事例研究数（件）	0	4	21	21	○	
2	起業・創業支援事業	民間の創業支援事業者（地域金融機関、NPO法人、商工会議所・商工会等）と連携し、ワンストップ相談窓口の設置、創業セミナーの開催、チャレンジショップ事業等の創業支援を実施する。	【鳥取市】鳥取県東部圏域の自治体・民間事業者で連携して創業支援等事業を行う。まちづくり融資～リノベーション創業型～、リノベーション型まちづくりファンドによる投資により、まちづくり事業に対する支援を行う。 【岩美町】岩美町商工会と連携して創業者に対する事業計画策定支援、創業補助金の交付を行った。 【若桜町】新規創業・開業支援補助 H29:2件200万円 H30:2件200万 H31:3件300万円（うち実施済1件） 【智頭町】新規創業・開業支援 R1.9月末実績 500,000円×1件 【八頭町】起業機運醸成セミナーにおいて、講演会を実施予定（計6回） 起業家支援補助金を交付 【新温泉町】・創業セミナー 8/19～9/17 全5回実施 ・ワンストップ相談窓口 新温泉町商工会（通年実施）、サンシーホール浜坂（毎週木曜日）で実施 ・起業補助金	創業者数（人）	113	113	9 (鳥取市分は未集計)	120	○	
3	圏域内の事業者に向けたセミナー開催事業	圏域全体の事業者を対象に、生産性向上、販路開拓、ワーク・ライフ・バランスなどさまざまなテーマで経営改善等につながるセミナーを開催する。	【鳥取市】 ●働き方改革セミナー（宿泊・飲食業等） 令和元年11月18日（月） 開催予定 ●働き方改革セミナー（建設業） 令和元年11月25日（月） 開催予定 ●若手社員職場定着促進事業研修 令和元年10月～12月（5回）開催予定 ●中小企業大学サテライトゼミ 令和元年9月～11月（3回）14人 【若桜町】働き方改革に関する中小企業・小規模事業者相談窓口の開設（週1回）	セミナー参加者数（人）	75	115	20	95	○	
4	地域商社活用事業	営業力や受発注・決済機能・物流機能、コンサルティング機能を持ち、既存商品・産品に加え市場化されずに眠る有望な地域資源を圏域外へ販路開拓・拡大することを目的とした商社事業を展開する。	●圏域の農水産物や食品加工品を中心に圏域外への販路開拓と販売を行う商品流通事業を行った。 ●地域事業者と共同して新商品の開発や既存商品のリニューアル、パッケージング開発等を行う商品開発事業を行った。	新規取引業者数（生産団体も含む）	10	16	48	58	○	
5	関西事務所運営事業	関西事務所に職員を配置し、鳥取県関西本部などとの連携を図りながら、関西圏や中四国、中京圏域などにおいて、鳥取・因幡圏域の広報宣伝活動や企業訪問等を実施する。	関西事務所において、企業誘致推進、観光情報発信における企業訪問を行った。 【鳥取市】111件（令和元年度：企業誘致訪問92件+観光情報発信19件） 【八頭町】49件	企業訪問件数（件）	60	70	141	190		○
6	広域的道路網整備促進事業	関係市町と連携し、圏域内の山陰近畿自動車道の未整備区間の早期整備、鳥取自動車道及び山陰自動車道の4車線化等を促進するため、関係機関に対する要望活動、啓発活動及び道路整備の際の環境整備を積極的に実施する。	●令和元年度事業実績 5月31日 道路関係3期成会合同総会を開催 7月4日 鳥取河川国道事務所・倉吉河川国道事務所への要望活動 7月11日 中国地方整備局への要望活動（広島） 10月16日 国土交通省、財務省、地元選出国会議員への要望活動（東京）	要望活動数（回）	4	5	3	4		○
7	森林保全推進事業	作業道の整備や間伐の促進、竹林の間伐等により、健全な森づくりを推進する。	【鳥取市】作業道の整備や間伐の促進、竹林の間伐等に要する経費を支援 【岩美町】作業道の整備や間伐等に要する経費を支援(令和2年3月に事業主体へ補助金交付) 【若桜町】作業道開設 L=1,940m、間伐面積 A=160.00ha 【智頭町】作業道開設578m、間伐面積12.92ha 【八頭町】作業道整備0m、間伐面積263ha 【新温泉町】切捨間伐 0ha、利用間伐 0ha	鳥取・因幡圏域の間伐面積（ha）	1,416	1,509	275	1,167		○

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (R1)	9月末現在値	R1年度末見込		
8	林業従事者支援事業	移住希望者等へ情報発信を行うとともに、林業労働者の確保及び就労条件の改善を図るための支援を行う。	<p>【鳥取市】林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、雇用年金の事業主負担に対し、経費の一部を助成した。（県：1/4、市：1/4）</p> <p>【岩美町】公益財団法人鳥取県担い手育成財団へ共済年金掛金、年末一時金支給の一部を助成。</p> <p>【若桜町】林業労働者の確保及び就労条件の改善を図るため、社会保険掛金等に係る支援を助成予定。</p> <p>【智頭町】森整備担い手育成対策事業を活用する林業従事者が8名となった。支援を行っている対象者は林業への従事を希望して他業種からの転職、移住者が3割を占める。</p> <p>【八頭町】○鳥取県森林整備担い手育成総合対策事業費補助金（雇用条件改善事業（社会保険料掛金助成事業））により、町内在住の林業労働者（雇用開始から5年以内）の負担する健康保険料及び厚生年金を補助する。 ○林業労働者福祉推進事業費補助金による市町村負担分を負担し、林業労働者の確保及び就労条件の改善に寄与する。</p>	林業労働者雇用条件改善事業実施者数（各年毎健康保険・農林年金への補助者数）（人）	43	42	17	51	○	
9	稚貝・稚魚放流事業	内水面や沿岸における稚貝や稚魚の放流や資源管理を図る。	<p>【鳥取市】・内水面漁業協同組合等が行う稚魚放流に要する経費を支援した。（放流量3.79t） ・沿岸漁業が行う放流を実施中</p> <p>【岩美町】稚貝・稚魚の放流 アワビ 27,000個、サザエ 22,000個、キジハタ 6,244尾 ワカメ 700m（11月予定）</p> <p>【若桜町】ヤマメ稚魚6,650匹の放流を10月上旬実施予定。 【八頭町】鳥取県魚の豊かな川づくり基金助成金を活用し、6月24日（月）・6月25日（火）に私都川（姫路、落岩、稲荷）、大江川（大江）、細見川（横地）でヤマメ稚魚約3,000尾の放流を行った。 【新温泉町】内水面事業＝鮎稚魚500kg、ウナギ稚魚10kg 海水面＝クロアワビ 8,500個、カサゴ5,000尾、ヒラメ100,000尾、マダイ200,000尾、キジハタ放流1,000尾放流</p>	放流数（トン）	7	5	5	6	○	
10	漁業雇用促進対策事業	移住希望者等へ情報発信を行うとともに、漁労技術の習得研修や漁業への就業支援を行い、就業者確保を図る。	<p>【鳥取市】鳥取県漁業協同組合等が海面漁業への就業を希望する者に対して行う漁労技術等の習得研修に要する経費を支援。（雇用型3名、独立型1名）</p> <p>【岩美町】研修生（9名：沖合底びき網漁業 雇用型）</p>	研修実施者数（人）	52	52	13	13	○	
11	特産品生産促進支援事業	白ネギの特産化を図るため、東部圏域で行う生産・販路拡大に対して支援する。	<p>【鳥取市】鳥取いなば農協が作成した「いばば白ねぎ倍増プラン」に基づき、面積拡大に取り組んだ。みんなでやらいや農業支援事業（がんばる農家プラン）により、苗代、技術対策費、販売対策費、機械導入等へ助成。</p> <p>【岩美町】がんばる地域プラン事業が平成30年度で完了。</p> <p>【若桜町】鳥取いなば農業協同組合が事業実施主体とする「白ねぎ倍増プラン」に係る支援補助（159千円）</p> <p>【八頭町】鳥取いなば農業協同組合を事業実施主体とする「いなば白ねぎ倍増プラン」の事業期間が平成30年度で終了し、事業実績は無し。</p>	白ネギの作付面積（ha）	60	65	53	60	○	
12	農産物販路拡大支援事業	農産物の新たな販路強化・拡大を行い、圏域農産物の販売促進を図る。	鳥取市では、毎月第2・4金曜日土曜日に大阪市中之島で農産物や加工品を対面販売する「グリーンマーケット」を開催し、麒麟のまち圏域の農産物の委託販売も実施。麒麟のまち特産品商談会を関西圏で開催。	関西圏での合同直販市の開催（回）	1	2	2	4	○	
13	地域おこし協力隊導入事業	三大都市圏等から地域おこし協力隊員を招致し、地域活性化に係る諸課題の解決と後継者確保対策を推進する。また、隊員のネットワーク促進など隊員の活動充実に向け、圏域情報の共有と連携を推進する。	<p>【鳥取市】吉岡温泉地区活性化（1名）、原木しいたけの生産振興（1名）、中心市街地活性化担当（1名）を配置</p> <p>【智頭町】6名の地域おこし協力隊を配置。自然栽培（1名）原木椎茸（1名）観光協会（1名）林業（2名）獣害対策（1名）</p> <p>今後予定-智頭農林高校魅力化コーディネーター（1名、応募があれば11月に実施予定）</p> <p>【八頭町】道の駅はっとうにおける特産品販売、振興（1名）</p> <p>【岩美町】地域資源を活用した生業づくり（1名）、アルマーレ魅力発信（1名）を配置</p> <p>【若桜町】商業部門（1名）、鳥獣対策部門（1名）</p> <p>今後予定-（商業1名）農林業（1名）若桜鉄道（2名）</p> <p>【新温泉町】但馬牛生産振興担当（2名）、道の駅事業推進（3名）、移住定住促進担当（1名）、観光振興支援（1名：新規1名）を配置</p>	地域おこし協力隊配置数（人）	43	34	21	29	○	

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R1)	9月末現在値	R1年度末見込		
14	農業担い手育成塾運営事業	鳥取・但馬圏域内の新規就農者及び関係団体等で構成する(仮称)「麒麟のまち・みらい農業ねっとわーく」を創設し、以下の事業を実施する。 (1) 情報共有(携帯メール配信等) (2) 研修・情報交換会の開催(座学研修、圃場研修、事例発表等)	○圏域農業者対象の研修(スマート農業セミナー)の開催。 新しい農業経営の一つのあり方を示し生産意欲の向上を図る。 ・8/21 スマート農業を「知る」セミナーVol.1 ・令和2年2月予定 スマート農業を「知る」セミナーVol.2 ・令和2年2月予定 JGAP指導員研修会 ○各町の農業担当部局を通じ、上記セミナーの開催を各町の新規就農者へPRを実施。	登録会員数(人)	0	63	18	35	○	
15	農業IT化促進事業	鳥取・但馬圏内の自治体及び農商工関係団体等で構成する(仮称)「麒麟のまち・スマート農業推進会議」を創設し、以下の事業を実施する。 (1) 情報収集・発信(メール配信等) (2) 研修・情報交換会の開催(座学・圃場研修、事例研究等)	○圏域農業者対象の研修(スマート農業セミナー)の開催。 新しい農業経営の一つのあり方を示し生産意欲の向上を図る。 ・8/21 スマート農業を「知る」セミナーVol.1 ・令和2年2月予定 スマート農業を「知る」セミナーVol.2	研修会延べ参加者数(人)	0	100	41	105	○	
16	麒麟獅子舞を生かした圏域活性化事業	圏域に受け継がれる麒麟獅子舞の魅力を情報発信、普及啓発し、圏域の活性化につなげるとともに、保存会等とも連携を図り、麒麟獅子舞の次世代への保存・継承を図る。 ・麒麟のまち連携コンセプト等について域内住民への浸透を図る ・博物館や展示施設での麒麟獅子関係巡回展の実施	【日本遺産「麒麟のまち」推進協議会事業】 ○情報発信:ポスター・リーフレット及びホームページ制作 プロモーション映像制作 VR動画コンテンツ制作 ○人材育成:麒麟のまち日本遺産塾の実施(ガイド育成) ○普及啓発:日本遺産認定記念シンポジウムの開催 麒麟獅子舞の観光体験プログラム化事業 ○公開活用のための整備 :麒麟獅子舞情報発信拠点の機能強化事業 日本遺産「麒麟のまち」インフォメーションコーナー設置 ○日本遺産構成文化財解説板整備事業 (上記補助事業の他、グッズ制作・JR鳥取駅前屋外広告看板の設置を実施中) 【麒麟獅子舞フォトコンテスト】 ・期間:2019.4.1~2020.3.23 ・内容:麒麟獅子舞の魅力が伝わる写真、舞の指導や練習風景、子どもたちの体験など地域での伝承や交流が感じられる写真を募集	圏域への観光入込客数(人)	4,764,000	5,625,000	4,993,000人(H30年度) 鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしているが、県の発表が毎年8月頃。			○
17	麒麟のまち関西情報発信拠点での情報発信等エリアプロモーション推進事業	麒麟のまち関西情報発信拠点において、麒麟のまち圏域での広域連携によるエリアプロモーション事業を展開し、交流人口の増加、移住定住の促進、地元産品の販路拡大を図る。また、マスコミ・メディアの本社が集中する首都圏において、各種情報の発信を行い、圏域の認知度アップ、イメージアップを図る。	【鳥取市】麒麟のまちオープン2周年記念フェア 4月13日(土)~22日(月) 圏域フェア 新温泉町 3月25日(月)~4月7日(日) 若桜町 5月20日(月)~31日(金) 八頭町 6月14日(金)~25日(火) 岩美町 7月8日(金)~22日(月) 鳥取市・智頭町・新温泉町 8月19日(月)~30日(金) (香美町 9月9日(月)~20日(金)) 麒麟のまち地酒の会 5月17日(金) 移住定住相談会 5月11日(土)・7月6日(土)・9月28日(土) 麒麟のまちアートワークショップ 毎月1回 インターンシップ学生施設見学 8月26日(月) 佐治小学校修学旅行観光PR 9月6日(金) 【智頭町】出張イベント「地域資源を受け継ぐという事」林業編 6月16日(日) 【新温泉町】新温泉町観光大使のつどい(10月21日開催予定)	圏域への観光入込客数(人)	4,764,000	5,625,000	4,993,000人(H30年度) 鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしているが、県の発表が毎年8月頃。			○
18	インターネットショップ推進事業	圏域内の物産のイメージアップやブランド化のため鳥取市が運営するインターネットショップ「とっとり市(いち)」への出店を麒麟のまち圏域に拡大し、圏域一体となった物産の振興を図る。	「とっとり市(いち)」関連規約を変更し、麒麟のまち圏域からの出店および生産された商品の取扱いを可能とした。 9月末現在で鳥取市域を除く同圏域から、7店舗(46商品)の出店があった。	出店店舗数(店)	110	134	127	130		○
19	駅前太平線バード・ハット利用促進事業	麒麟のまち圏域内各市町の地域振興に関わるイベント(行政系)等をバード・ハットで開催する際は使用料を免除し、交流人口の増加を図る。	地域振興に関わるイベントとして、8月に鳥取しゃんしゃん祭関連事業を開催。プレイイベントとしゃんしゃん祭当日における延べ3日間で8,000人近くの来場があり、交流人口の増加につながっている。	利用回数(回)	0	2	1	3		○

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値（H28）	目標値（R1）	9月末現在値	R1年度末見込		
20	地域連携DMO「一般社団法人麒麟のまち観光局」支援事業	地域連携DMO「一般社団法人麒麟のまち観光局」が行う鳥取・因幡圏域の観光素材の開発・普及及び県内外への観光広報宣伝活動の実施を支援する。 ※鳥取県東部・兵庫県北但西部1市6町のDMO設立による拡充	<p>【すべて進行中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「麒麟のまち観光圏」ブランディングに係るマネジメント 麒麟のまちのロゴデザインの圏域内への浸透を図るため、ステッカー・ミニのぼりを作成し5月中に会員向けに配布済み。また、6月に駅前パード・ハットへ麒麟獅子の日本遺産認定に合わせ、ロゴマークを配したPRフラッグを設置。 ●観光ビジネスインフラの整備 圏域へのさらなる外国人観光客の誘客並びに、周遊観光をする際の利便性を向上させるため、民間事業者と連携し販売・予約・決済をWebで完結するシステムの開発を進めている。9月中に試験運用予定。 また、キャッシュレスへの対応を進めるため4月、8月、9月に会員・関係団体向けのセミナーを実施。同時に8月より翻訳機器の斡旋開始。 ●マーケティング 外国人観光客の観光ニーズや動向を把握するため、鳥取市国際観光客サポートセンターと連携し、外国人観光客向けアンケートをWeb上で9月から実施。また、山陰インバウンド機構とも相互の外国人旅行者データを共有し、分析と現状把握を進める。 ●観光コンテンツ開発・販路開拓 観光列車（若桜鉄道、智頭急行）を活用した商品造成と販売を実施。 羽田-鳥取間の航空路線利用客増加策として行う事業への支援と、欧米豪向けの誘客事業である「ODYSSEY JAPAN」への継続的な事業連携の実施。 ●交通インフラ整備 圏域内の交通インフラを模索するため豊岡-鳥取間の高速バスを8月2日～18日までの間の金土日祝日に実証運行し、40便で450名の乗車があった。 また、圏域内主要な観光地間の移動環境を向上させるためオンデマンドバス配車サービスを協議検討中。 ●圏域内の情報収集・発信、その他 圏域のイベント情報をまとめたパンフレットを季節ごとに制作し配布。英語版Webページの認知度向上のためのチラシ・ポスターを作成し各所へ配布。 	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,625,000	4,993,000人（H30年度） 鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしているが、県の発表が毎年8月頃。		○	
21	国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会支援事業	各市町が連携し、国道29号周辺地域の活性化のための情報発信やイベントの開催、沿線整備を行う。 ※日本風景街道新因幡ライン事業の実施に伴う拡充	<ul style="list-style-type: none"> ●令和元年6月26日に総会開催 ●タウン誌での情報発信の実施 沿線市町のイベント、グルメ情報等を発信力の高いタウン誌に特集記事として掲載。 ①さんいんキラリ2019夏号（7月末発行） ②まるはり10月号（8月末発行） ●高速道路での国道29号沿線への誘客に関する事業 国土交通省の協力を得て、道路情報表示板（国道29号1箇所及び鳥取自動車道3箇所）による誘導を実施。 	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,625,000	4,993,000人（H30年度） 鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしているが、県の発表が毎年8月頃。		○	
22	因幡・但馬・丹後観光協議会支援事業	鳥取因幡地域、兵庫県但馬地域、京都府丹後地域の観光宣伝活動を推進するとともに、観光客の受け入れ態勢の整備を行うための研究会、観光マップの作成などを実施する。	麒麟のまち観光局や山陰海岸ジオパーク推進協議会など、目的が同じ組織が複数あるため、平成30年7月に開催された総会において30年度末で解散することが決定された。（H31年3月末で解散済み）	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,625,000	4,993,000人（H30年度） 鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしているが、県の発表が毎年8月頃。		○	
23	鳥取自動車道活性化協議会支援事業	鳥取自動車道活性化協議会が行う因幡連携事業やフォトコンテストなどのPR事業を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ●令和元年7月4日に総会開催。 ●鳥取自動車道沿線エリアを対象としたフォトコンテストの開催 期間：令和元年8月8日～令和2年1月16日 ●地域連携事業 大学生による地域資源の発掘・SNS情報発信活動への支援 	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,625,000	4,993,000人（H30年度） 鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしているが、県の発表が毎年8月頃。		○	
24	外国人観光客受入事業	各市町が連携し、外国人観光客の受け入れを促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ●海外プロモーションの実施 ・台湾メディアFAMツアーの実施 ・台湾版Facebookでの情報発信 ・鳥取市観光セミナーの実施（台湾） ●国際観光客サポートセンター運営 ・外国人観光客案内所として、英・中・韓スタッフ5名を配置 ●受入環境の整備 ・モバイルWi-Fiルーターの無料貸出 ●旅行商品の造成 ・羽田-鳥取便外国人観光客格安旅行商品の造成 ●各種交通優遇施策の実施（各運行事業者へ補助金交付） ・大阪-鳥取間の高速バス（片道1,000円）の運行（6月-3月） ・外国人観光客周遊タクシー（2,000円・3時間/人）の運行 	国際観光客サポートセンターの利用者数（人）	10,000	11,000	6,908	17,000	○	

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (R1)	9月末現在値	R1年度末見込		
25	因幡・北但西部周遊バス運行支援事業	因幡・北但西部圏域を周遊するバスツアーの企画及び運行の支援を行う。 ※既存コースの見直しと新規コースの開発による拡充	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取・因幡を周遊するバスツアー <ul style="list-style-type: none"> ・Gバス—ジオウエストコース（鳥取市西地域） 6月8日（土）～11月23日（土）のうち9回運行予定。 催行回数：5回（9月末時点全ツアー催行） 利用人数：66人 ・万葉のふるさとをめぐる旅 10月5日（土）～10月26日（土）の毎週土曜4回運行予定。 	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,625,000	4,993,000人（H30年度） 鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしているが、県の発表が毎年8月頃。		○	
26	浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会支援事業	浦富海岸及び鳥取砂丘エリアを観光周遊するボンネットバスの運行の支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●バス愛好家さんこだわりコース（定員20名） 岩美町の写真スポットを巡るコース。 海岸や展望台、瑞風の停車駅東浜駅などに立ち寄る。 2本運行、17名乗車 ●アニメの世界へようこそコース（定員20名） 人気アニメのロケ参考地を巡るコース。 8本運行、101名乗車 ●岩美の夏食べつくしコース（定員20名） 岩美町の観光地を巡り、特産品を食べ歩くコース。 1本運行、9名乗車 	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,625,000	4,993,000人（H30年度） 鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしているが、県の発表が毎年8月頃。		○	
27	山陰海岸ジオパークを活用した広域観光推進事業	フォーラム、研修会等の開催、案内看板の設置、リーフレットの作成等を行い、山陰海岸ジオパークの普及・啓発を行う。また、ジオガイド研修会等を開催し、ジオガイドの養成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●山陰海岸ジオパークの見どころの一つである多鯉ヶ池にウッドデッキを整備毎年行われている「多鯉ヶ池手づくりいかだレース」イベントや「あおぞら染め物体験イベント」などに活用できるほか、カヌーやSUP体験者、観光客の休憩場所として利用されている。 ●ガイド交流会の実施 開催回数 2回 開催場所 諸寄、鳥取市中心市街地 参加人数 37名 ●山陰海岸ジオパーク世界審査再認定 日本海新聞広告掲載、横断幕作成、設置 	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,625,000	4,993,000人（H30年度） 鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしているが、県の発表が毎年8月頃。		○	
28	観光大学運営・活用事業	現在、鳥取市で実施している観光マイスター育成制度を圏域内へ拡充し、圏域内のホスピタリティー向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ●現在までの状況 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市観光大学（事務局：鳥取市観光コンベンション協会）の実地研修を、東部圏域エリアに拡大して実施。 ・受講対象者を圏域内へ拡充して募集開始。 ●事業の内容 令和元年10月～ 受講生募集開始 令和2年1月9日～2月17日 観光大学 令和2年3月2日 マイスター認定証授与式 	観光マイスター新規認定者数（人）	40	40	0	40	○	
29	砂のルネッサンス連携事業	国内砂像選手権等、砂像に関する事業を1市6町と共催し、連携事業実施、PR	鳥取砂のルネッサンス2019 【期 間】 令和元年9月14日（土）～9月16日（月） 【場 所】 鳥取駅前風紋広場 【主 催】 鳥取市 【共 催】 鳥取砂のルネッサンス実行委員会 【来場者数】 約18,000人 【主な内容】 学生限定とした砂像グランプリの開催、有名な玩具会社「(株)ポーター」と連携した巨大すなばの設置	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,625,000	4,993,000人（H30年度） 鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしているが、県の発表が毎年8月頃。		○	
30	若者の地元定着促進事業	圏域の高校生を対象にした圏域企業見学会を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ●R元年度実績 <ul style="list-style-type: none"> ①実施時期（予定）：10/31～R2年3月末 ②企業見学会参加高校（予定）：岩美高校、智頭農林高校、鳥取工業高校、鳥取商業高校、鳥取湖陵高校、鳥取緑風高校、青谷高校、鳥取敬愛高校、鳥取城北高校（9校） ③企業見学会参加企業（予定）：33社 	企業見学会参加人数（人）	650	810	0	712	○	
31	国際経済交流推進事業	国際的な経済・観光交流促進を目的に設置している「鳥取市国際経済発展協議会」で実施する情報発信や貿易相談サポート等の業務について、支援対象範囲を麒麟のまち圏域に拡大する。	<ul style="list-style-type: none"> ●企業の海外進出及び海外販路開拓等の海外展開に関する貿易相談・サポート ●海外商談会・経済ミッション等支援及びマッチング ●貿易に関する相談を受けて、海外貿易企業等へマッチング。 ●国際観光（通訳等）の推進やインバウンド需要の取り込み。 ●翻訳・通訳支援（主に企業・行政等対応） 	インバウンド需要取り込みに向けた観光パンフレットなどの翻訳支援件数（件）	141	151	33	100	○	

イ 高次の都市機能の集積・強化

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (R1)	9月末現在値	R1年度末見込		
32	鳥取市立病院、岩美町国民健康保険岩美病院、国民健康保険智頭病院の地域医療研修協力事業	鳥取市立病院の初期及び後期研修医師が岩美町国民健康保険岩美病院及び国民健康保険智頭病院において、地域医療研修を行う。	初期研修医が、岩美町国民健康保険岩美病院と国民健康保険智頭病院でそれぞれ1名ずつ医療研修（1ヶ月間）を行った。10月以降も各病院で1名ずつ医療研修を行う予定。	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続		○
33	鳥取市立病院と国民健康保険智頭病院の医師の相互派遣事業	鳥取市立病院の泌尿器科・産婦人科・外科の医師がそれぞれ週に1回智頭病院で診療している。その他にマンモグラフィの二次読影業務を行っている。	鳥取市立病院の泌尿器科・産婦人科・外科の医師がそれぞれ週に1回智頭病院で診療している。その他にマンモグラフィの二次読影業務を行っている。	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続		○
34	鳥取市立病院、公立浜坂病院の相互連携事業	鳥取市立病院及び公立浜坂病院の情報共有や相補的な相互連携を行う。	具体的な事業は行っていないが、今年度も全国各地で自然災害等が多く発生しており、今後も連携体制を継続していく。	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続		○
35	鳥取市夜間・休日急患診療所運営事業	夜間・休日の1次救急医療体制（内科・小児科）を確保するため、夜間・休日急患診療所の運営を行う。	【委託先】鳥取県東部医師会 【実施場所】東部医師会急患診療所（鳥取市富安1丁目58番地1） 【診療時間】 [夜間] 通年（365日）：午後7時から午後10時まで。 [休日] 日曜日・祝日、8月13日から8月15日、12月30日から翌年1月3日：午前9時から午後5時まで。 【患者実績】平成28年度 17,000人 平成29年度 17,735人 平成30年度 16,150人 令和元年度9月末実績（見込）7,801人	急患診療所の開所	開所	継続	継続	継続		○
36	病院群輪番制運営支援事業	休日の2次から3次救急医療体制を確保するため、対象病院の輪番日運営に対する支援を行う。	【実施病院】市立病院、中央病院、生協病院、日赤病院の輪番制 【診療時間】日曜・祝日等の休日（第2土曜日含む）並びに年末年始：午前8時30分～翌日の午前8時30分 【実施日数】平成28年度 82日 平成29年度 83日 平成30年度 83日 令和元年度9月末実績（見込）43日	病院群輪番制の実施	実施	継続	継続	継続		○
37	ドクターカー導入検討事業	鳥取市立病院にドクターカーを配備し、消防署の要請を受けて医師が救急現場に出動したり、搬送途中の救急車と合流することで、迅速に救急患者に対応	市立病院は、平成30年度に救急科を新設して救急患者の受入実績が前年度よりも16%増加しており、今後も救急受入体制の強化を図る中で、ドクターカーの導入についても検討していく。	研究する	—	研究	研究	研究	○	
38	鳥取砂丘コナン空港利用促進事業	鳥取砂丘コナン空港の利便性向上や利用促進を行う。	○鳥取市、県、鳥取商工会議所が事務局を担当している「鳥取空港の利用を促進する懇話会」が中心となって、広告掲載、旅行会社の商品造成・販売支援、各種イベントを実施。 ○国交省に対し、5便化継続の要望書を提出（5/22） ○ANAに対し、運賃の低廉化に対する要望活動を実施（5/22）	東京便の搭乗者数（人／年）※有償利用	353,541	390,000	未確定	400,000		○
39	公共交通機関のパスカード、ICカードの発行・運用検討事業	JR・智頭急行・若桜鉄道・日交バス・日ノ丸バス・全但バスなどの公共交通全てで使用可能なICカードの発行・運用に係る各種検討を行う。	JR西日本本社及び米子支社とIC化に関する意見交換を実施（7/29）	研究・検討会議の実施（回）	0	2	1	2	○	

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (R1)	9月末現在値	R1年度末見込		
40	山陰新幹線の整備促進のための要望活動等事業	関係市町と連携し、山陰新幹線の早期実現をめざし、関係機関への要望活動、啓発活動を積極的に実施。	<p>●令和元年度事業実績</p> <p>R1. 6. 11に「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議（会長：鳥取市長）」の総会を開催。翌日、国に対し要望決議書を提出。</p> <p>また、山陰新幹線の必要性等を関係自治体の住民等に訴えていくための基礎調査（実現性研究調査）を実施中。</p> <p>●今後の予定事業</p> <p>R1. 10. 6に、山陰新幹線の早期実現の必要性と整備計画に向けた取り組みを考えるため、山陰新幹線京都北部ルート誘致・鉄道高速化整備促進同盟会と共催で決起大会を開催予定。</p>	国等への要望活動回数及びシンポジウム等開催回数（回）	2	2	1	2	○	
41	公立鳥取環境大学が実施する教育・研究活動との連携事業	圏域の活性化に向けて活動する「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム」へ参画し、大学、経済団体等と連携し地域課題の解決に取り組む。	<p>【鳥取市】</p> <p>「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム」の活動拠点であるまちなかキャンパスの運営支援を実施し、まちなかキャンパスで展開される大学の地域貢献活動（「まちなか英語村(7/27・9/4実施)」、「環大スタディ(9月末時点で23回開催)」など）をサポートした。</p> <p>また、令和元年11月下旬頃に開催予定の「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム地域連携推進会議」へ参加を予定しており、大学・圏域自治体・関係団体等と大学との連携について意見交換を行う計画である。</p> <p>【岩美町】</p> <p>公立鳥取環境大学の整備した「むらなかキャンパス」での事業を周知した。（出張英語村を令和元年9月10日に実施）</p> <p>【新温泉町】</p> <p>公立鳥取環境大学の「出張英語村」を新温泉町で令和元年8月21日に開催し、運営サポートを行った。（参加者31名）</p>	公立鳥取環境大学が実施する教育・研究活動と関係市町との連携事業数（事業）	2事業（1市1町）		2	2	○	

ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値(H28)	目標値(R1)	9月末現在値	R1年度末見込		
42	看護・医療系人材の育成・確保事業	看護職員実習指導者の養成に努めるとともに、看護職員実習指導者の養成のための支援を行う。	【事業詳細】県等が主催する看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関（県立の病院等は除く）に受講者の受講期間（約2か月）の基本給の一部を補助。 【補助対象実績】平成28年度 13人 平成29年度 13人 平成30年度 13人 令和元年度9月末実績（見込）3人	看護職員実習指導者養成講習会の受講者数（人／年）	13	12	3	12	○	
43	医療への関わり方の圏域住民への周知事業	医療の関わり方などについて、講演会等開催し住民に周知する。	さざんか会館で「市民医療講演会」を年11回計画しており、そのうち5回実施済である。また、講演会の様子をケーブルテレビ放映やインターネット上で動画配信することで、より多くの地域住民に医療の情報を発信している。	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続	○	
44	病児・病後児保育事業	就労等により、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に利用するための各市町の病児・病後児保育施設を、圏域内での相互利用が可能となるよう広域化を図る。	広域利用の実施状況（鳥取生協病院、病児保育室とくよし） 令和元年4月から令和元年9月までの実績 ・利用者数 5人 八頭町 3人（生協病院1人、とくよし2人） 若桜町 1人（とくよし1人） 岩美町 1人（生協病院1人） ・利用回数 9回	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続	○	
45	障がい者歯科診療所運営支援事業	一般歯科医院での診療が難しい心身障がい児（者）の歯科保健指導・歯科診療を行う鳥取県口腔総合保健センターの安定的な運営を支援することで、障がい児（者）の口腔健康の維持・向上を図る。	・障がい者歯科診療事業 毎週木曜日の午後に診療を行う。（医師2名体制） 延べ利用者数：（4月～9月）310名 ・口腔疾患予防処置及び歯科相談診療 毎週火曜日の午後にフッ化物塗布、初期う蝕（虫歯）の処置等の歯科疾患予防処置・保健指導及び各種相談の受付・助言を行う。 延べ利用者数：（4月～9月）31名	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続	○	
46	圏域内での在宅医療・介護連携の推進事業	圏域内における医療や介護の連携を強化し、住民の意向が強い在宅療養を推進するための地域資源の連携・活用に取り組む。	●鳥取県東部1市4町は協働し、鳥取県東部医師会へ事業委託し事業を実施。（全8項目を実施中） ●新温泉町を含めた1市5町で、共通した住民啓発を進める目的として、終活支援ノートを昨年度に引き続き共同作成、ACPパンフレットの共同活用。 ●鳥取県東部医師会で実施される多職種連携研修会への新温泉町関係者の参加。	在宅医療・介護連携推進事業の実施（実施事業数）	全8事業	全8事業	全8事業	全8事業	○	
47	社会福祉協議会各種相談事業	社会福祉協議会が実施している各種相談事業（法律、司法書士、人権、行政、身障、教育、青少年等）について、圏域の住民に対象を広げて相談を受け付ける。	社会福祉協議会が実施している各種相談事業（法律、司法書士、人権、行政、身障、教育、青少年等）について、圏域の住民に対象を広げて相談を受け付けている。	社会福祉協議会各種相談件数（件／年）	118	110	100	209	○	
48	鳥取県東部聴覚障がい者センター活用事業	鳥取県東部聴覚障がい者センターを活用し、圏域内で均衡した聴覚障がい者の社会参加促進を支援する。	【聴覚障がい者意思疎通支援事業】 手話通訳者派遣（4～9月）1,503件 要約筆記者派遣（4～9月）33件 【手話奉仕員養成研修事業】 20名申込（講習会は10月～全21回） 【聴覚障がい者生活支援事業】 月2回 計22回実施 延べ参加者数：（4～9月）201名	手話奉仕員養成研修受講者数（人／年）	34	34	20	20	○	
49	保育者等を対象とした障がい児支援の在り方等の研修実施事業	障がい児等への支援を行う保育者等に対し、療育を含めた各地域における障がい児等支援に関する理解を深める。	●児童発達支援センター若草学園における参加型公開療育を9月2日に実施完了。 10月8日・10月30日にも実施予定。 ●感覚統合の研修会を11月に実施予定。 ●地域療育セミナーを11月24日に実施予定。	保育者等を対象とした障がい児支援の在り方等の研修実施、積極的な研修参加案内（回／年）	2	3	1	4	○	
50	点訳朗読奉仕員養成研修事業	視覚に障がいのある方の福祉に理解と熱意を有する方に、点訳・朗読の指導を行い、奉仕員を養成する。	●点訳奉仕員養成講習（8月～10月に実施） 計8回 7名受講 ●朗読奉仕員養成講習（8月～10月に実施） 計8回 19名受講	点訳朗読奉仕員養成講座受講修了者数（人）	5	5	26	26	○	
51	地域活動支援センター事業	障がいのある人が、地域活動支援センターで創作活動や生産活動、社会との交流活動等を行うことにより社会参加を促進し、その能力や適正に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援を行うもの。 サマーハウスが、創作活動や社会との交流の場等として設置する地域活動支援センターの運営を支援する。	生活支援事業、相談事業、地域交流活動、その他地域生活支援事業を行っている。 延べ利用者数：（4～9月）3,353人	年間延べ参加者数（人）	6,500	6,500	3,353	6,500	○	

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (R1)	9月末現在値	R1年度末見込		
52	博物館施設等活用連携事業	小中学校児童生徒の圏域内学習に寄与するため、圏域内博物館施設を学校教育や子どもたちの体験学習へ活用する	令和元年度の上期における実施件数は1件のみで、下期の見込みも含め通年で4件と想定される。事業は鳥取市内の学校には定着してきているが、連携中核都市圏内の他町からの要望は見込めていない。 実績 上期：宝木小 下期：宮ノ下小・瑞穂小・美和小・神戸小	博物館施設等活用連携事業実施回数（回／年）	0	3	1	4	○	
53	圏域の文化財情報連携事業	圏域各市町が連携して、圏域内全体の文化財情報を通覧できるようにする。	令和2年度に策定される「鳥取市歴史文化基本構想」の成果を反映して、令和2年度中にHPの更新を計画している。	圏域文化財情報公式ウェブサイトページのアクセス数（件）	3,000	3,100	0	0	○	
54	森のようちえん運営・活用事業	智頭の森というフィールドを学び舎として積極的に活用し、雨や雪の日でも毎日森に出かける野外保育により、幼児期の心と体の育成に取り組む。	智頭の森というフィールドを学び舎として積極的に活用し、雨や雪の日でも毎日森に出かける野外保育により、幼児期の心と体の育成に取り組んでいる。	森のようちえんへの入園を目的とした移住者の数（人）	47	120	110	120	○	
55	麒麟のまち交流スポーツ大会事業	各市町又は圏域内市町間で行っているスポーツ大会を、圏域全体に参加対象を広げるにより、スポーツを通じた地域間の交流を図る。 鳥取市：マスターズ駅伝（バードスタジアム有効活用） 新温泉町：新温泉町スポーツレクリエーション記録会	令和元年11月23日（土）、とりぎんバードスタジアムを発着として、マラソンハーフコースを5区間に分け、マスターズ駅伝大会を開催予定。 【鳥取市】市報へ掲載 【新温泉町】令和元年11月23日（土）開催、新温泉町スポーツレクリエーション記録会にかかる募集案内チラシを岩美町、鳥取市担当課等へ事前配布	参加者数（人）	159	190	0	350	○	
56	国際理解推進交流事業	鳥取市に配置の国際交流員（英語圏・ドイツ担当1人、韓国担当1人、中国担当1人）が市民向けに行っている国際理解講座（料理教室、文化の紹介、語学等の講座）を5町で希望する団体等へも広げ、圏域全体における国際理解の推進を図る。	●事業実績 鳥取市において、小学校、公民館などを中心に講座を開催中。 講座回数：52回（9月末現在） ●連携事業としての成果 現段階では無。 若桜町において11月23日、親子対象の事業を実施予定	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数（回）	87	100	52	85	○	
57	公共図書館の相互利用事業	圏域内に居住している人はだれでも、圏域内の各公共図書館で資料が借りられる相互利用を行う。圏域全体で読書活動の推進、利便性の強化を図る。（ただし、利用者が各館に出向き貸出・返却を行うこととする。また、マイナンバーカードを図書カードとして活用することについては、引き続き検討する。）	①各館の利用案内を配置し、周知を図った。 ②とっとりふるさと元気塾と連携して「万葉の花の切り絵ワークショップ」などを実施した。（新温泉町） ③鳥取市立中央図書館に新設した「地域情報コーナー」において、各地域を紹介する企画展示を検討中。	在住外登録者の利用冊数（総人口100人当たり）（冊）	8.7	9.4	5.3	10.3	○	
58	野生鳥獣被害防止事業	鳥獣被害防止対策連絡調整会議を開催するとともに、侵入防止柵、一斉駆除、捕獲奨励金、捕獲器具購入等に対する支援を行う。	【鳥取市】 侵入防止柵、一斉駆除、捕獲奨励金、捕獲器具購入等に対する支援 【岩美町】 捕獲奨励金、捕獲器具購入等に対する支援を実施 【若桜町】 ・侵入防止策補助 1,000千円 ・一斉駆除回数 2回 ・捕獲奨励金 4,421千円 【智頭町】 捕獲奨励金 ニホンジカ139頭、イノシシ22頭 一斉捕獲 カラス20羽 【八頭町】 鳥獣捕獲数 (R1.9月末 見込み) ○イノシシ 231頭 ○シカ 709頭 侵入防止柵設置 (R1.9月末 見込み) ○電気柵 15,195m ○ワイヤーメッシュ柵 1,981m 【新温泉町】 有害鳥獣捕獲班員への活動手当（4月～6月）5,910千円	年間被害面積（a）	3,361	3,278	460	3,213	○	
59	射撃場整備・管理運営事業	農作物に被害を与える野生鳥獣の捕獲のための射撃練習や射撃講習ができる射撃場を整備し、銃猟者を育成・確保する。	東部圏域に銃猟者の技能講習が可能な射撃場（捕獲技術高度化施設）鳥取クレー射撃場の運営	鳥取クレー射撃場利用者数（人／年）	420	450	324	492	○	
60	いなばのジビエ推進協議会支援事業	猪や鹿等の有害鳥獣をジビエとして有効活用するため、先進事例研究やイメージアップ及び消費拡大に向けた取組を行う。	視察研修、解体処理技術向上研修の開催、情報発信、料理講習会の開催、新ジビエ料理と加工品の開発支援、各種イベントの共催。	いなばのジビエ推進協議会主催イベント入場者数（人／年）	20,000	22,000	40	10,000	○	
61	とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会支援事業	東部圏域が一丸となって県内外への情報発信（ホームページの開設など）を行うとともに、先進地視察、研修会、モニター体験ツアーなどを実践し、スケールメリットを生かした取組を行う。	（事業予定） 【自然体験部会】 R1年11～12月 里山トレッキングガイド講座 R1年秋ごろ リスクマネジメント講座 R2年3月 マレーシア旅行博及びボルネオ島でのインバウンド研修 【田舎体験・特産品部会】 R1年10月ごろ 特産品加工・商品開発勉強会 時期未定 インバウンド外国人受け入れ研修 時期未定 税金について研修会	とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会加盟団体数（団体）	27	30	22	22	○	

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R1)	9月末現在値	R1年度末見込		
62	グリーンツーリズム推進事業	都市住民との交流、グリーンツーリズムに取り組んでいる地域・団体が構成するグリーンツーリズム連絡会等の活動やそれぞれの地域活動を支援する。	【鳥取市】 R1年8月26日 鳥取市グリーンツーリズム連絡会主催で「インバウンド受入れ実践セミナー-今日から使えるキャッシュレス&通訳機-」を実施 R2年1月ごろ 先進地視察研修予定 【新温泉町】 県内の小、中学校へ体験活動の誘致活動を実施	グリーンツーリズム関連団体が主催する体験事業の参加者総数（宿泊を伴うもののみ）（人）	1,485	2,020	881	1,217		○
63	森林セラピー事業	智頭町の90%以上を占める森林資源を活用し、住民の健康増進はもとより、都市住民との交流・誘客・企業提携などによる地域の活力創造と、疎開の町としての癒しの里づくりを進める。	【鳥取市】 とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会HPで事業を紹介し、情報共有・発信した。 【智頭町】 日常とは離れ、知らない地域の人々との交流や仕事体験、森林セラピー、民泊等、「智頭町で暮らす」ことを体験し、様々な角度から働き方・生活時間の使い方などを見直す体験型研修を推進した。	森林セラピー導入企業数（社）	0	16	4	5		○
64	とっとりふるさと元気塾開設事業	とっとりふるさと元気塾を開設し、地域や集落の活性化を目指して実践的な活動を主体的に取り組んで行くことのできる実践者・リーダーの養成を推進する。	【鳥取市】 R1.9月末 11講座（テーマ別：8講座、地域別：3講座）を実施 【岩美町】 ○「因州和紙の剪画（切り絵）ワークショップ」を岩美町内で開催（8/2開催、参加者17名、うち小学生4名） 【若桜町】 ○「因州和紙の剪画（切り絵）ワークショップ」を若桜町内で開催（8/4開催、参加者8名） ○「わかさ女子会」を若桜町池田地区で開催予定（10/6） 【八頭町】 各事業実施について、関係団体等に情報提供し、積極的な参加を促した。 ○「因州和紙の剪画（切り絵）ワークショップ」を八頭町内で開催（8/6開催、参加者10名） 【新温泉町】 ○「因州和紙の剪画（切り絵）ワークショップ」を新温泉町内で開催（8/4開催、参加者16名、うち小学生以下4名） ○「日本遺産北前船講座（新温泉町諸寄地区の活動に学ぶ）」を新温泉町内で開催（8/10開催、参加者38名）	とっとりふるさと元気塾リーダー認定者数（人）	37	30	0	30		○
65	麒麟のまち創生戦略会議運営事業	麒麟獅子文化をはじめとする、さまざまな文化・歴史を共有する、因幡と但馬地域のそれぞれの市町が、行政、文化、経済等の連絡調整を行い、各市町の発展と県境地域の振興を図る。 （構成市町：鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県香美町、新温泉町）	・令和元年6月5日、麒麟のまち創生戦略会議を開催。 ・令和元年11月5日、麒麟のまち創生戦略会議・サミットを開催予定。 麒麟のまち創生戦略会議では、連携事業について協議を実施。 サミットでは「日本遺産を生かした圏域の活性化について」をテーマに首長・議長等で意見交換。	サミット開催数（回）	1	1	0	1		○
66	地域づくり活動発表会開催事業	各地域の地域づくり活動を行う団体・者の取組状況の発表や意見交換の場を設定し、活動の成功例・失敗例、課題問題点などの情報共有化を進めることで、地域が連携した地域活動の推進を図るとともに、併せて地域相互間の往来を促す取組を行うことで、地域周遊のラインの形成を図る。 （例示 地域産品を活用した特産品開発について、情報交換の場で違う視点での意見を交え、意見交換してブラッシュアップを図り商品化につなげる等。）	令和2年3月中旬 ふるさと元気塾成果発表会「とっとり元気フェスタ」を実施予定。	参加団体数（回）	0	12	0	25		○
67	圏域防災力の向上事業	圏域内における防災情報連携により「自助・共助・公助」それぞれの機能を促進させ、圏域防災力の向上に取り組む。 【平成30年度の主な取組】 ●災害時相互応援協定の締結 ●自主防災組織等を対象とした圏域内合同防災研修会の開催（共助連携） ●防災備品・備蓄品の情報連携（公助連携） ※31年度以降の連携内容については、ミサイル等武力攻撃事態に関するオリジナル広報等の製作や防災マップ等の情報連携発信等を予定している。	●防災担当職員合同研修会及び意見交換会を令和元年11月27日に開催予定。（取り組み事例紹介の位置づけで、鳥取市が開催している「鳥取市防災リーダーフォローアップ研修」を各町の防災担当者に参加（見学）してもらい、研修会終了後、圏域防災力向上につながる各市町の地域防災力向上の取り組みについての意見交換会を行う予定）	防災情報連携事業数（事業）	0	2	0	1		○

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R1)	9月末現在値	R1年度末見込		
68	ごみ減量化推進事業	ごみに対する啓発事業を各市町で連携して行っていく。また、生ごみ堆肥化容器の購入促進等の具体的な減量化の取り組みを行い、家庭から排出されるごみの減量化を図る。	<p>【鳥取市】 生ごみ堆肥化容器等購入補助 17件 優良事業所認定 1件審査中 段ボールコンポスト講習会（ごみ処理施設見学会含む）1回（参加人数5名） 【岩美町】生ごみ堆肥化容器の購入等の支援を行う。 【若桜町】電動生ごみ処理機購入補助：0件 コンポスト購入補助：4件：13,600円 ポカシ水肥専用容器：2件：2,000円 【智頭町】生ごみ処理機購入補助：0件 生ごみ分別収集：28t 【八頭町】コンポスト購入補助：1件4,000円 生ごみ分別収集：114t 【新温泉町】新温泉町生ごみ自家処理機購入費補助金 コンポスト補助：2台：9,000円</p>	可燃ごみの処理量 (t)	61,612	53,773	32,175	61,843		○
69	ゆめぐりエクスプレスバス運行事業	鳥取市と兵庫県新温泉町の間を結ぶ定期バスの運行を支援し、生活交通の確保及び観光客の利便性向上を図る。	<p>○ゆめぐりエクスプレスバス運行協議会担当者を開催 (5/9) ○ゆめぐりエクスプレスバス運行協議会総会を開催 (5/30) ○4月からのダイヤ改正に伴うチラシの作成・配布や車両行先表示板の設置など、ダイヤ改正の周知と利用啓発を実施 ○今後、各種広報媒体を活用した利用促進を実施</p>	平均乗車人員 (人/便)	2.47	2.05	1.30	1.50		○
70	JR山陰本線利用促進事業	山陰本線の利用促進や利便性の向上を図るための取組や要望活動を行うとともに、沿線地域の活性化を図る。	<p>【鳥取市・岩美町】 「鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会（事務局：県交通政策課）」として、ジオライナーの運行支援を実施。 【新温泉町】 1. 連携事業 ①山陰本線・福知山線複線電化促進期同盟会として、事業を実施 ②兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会として、事業を実施 ③駅前レンタサイクル利用料補助事業のチラシ配布とHP掲載 2. 新温泉町の取組 ①鉄道グッズ館「鉄子の部屋」の管理運営 ②職員e-出張事業</p>	山陰本線（久谷～青谷間）の乗客数（千人/年）	3,856	3,860	未確定	3,860		○
71	智頭線・因美線利用促進事業	智頭線や因美線の利便性向上や利用促進等の事業を行い、沿線地域の活性化を図る。	「智頭線利用促進協議会（事務局：県交通政策課）」として、利用促進に関するチラシを作成中。	因美線（鳥取～那岐）、智頭線（智頭～山形）の乗客数（千人/年）	3,345	3,350	未確定	3,350		○
72	広域バス路線等運行支援事業	圏域内における広域的なバス路線、また主要なバス路線や鉄道等と連携して運行する地域交通バスに対する支援を行う。合わせて、鉄道と路線バス、各市町運営バス等との接続の利便性を向上させるため、所要の調整を行う。	鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会（事務局：県地域交通政策課）として、鉄道と路線バスのダイヤ調整等について意見交換を実施 (7/25)	路線バス利用者数（人/年）	2,474,000	減少抑制年5%以内	未確定	減少抑制年5%以内		○
73	若桜鉄道利用促進事業	若桜鉄道の利便性向上や利用促進のためさまざまな取組を行う。 ①若桜鉄道利用促進 若桜鉄道利用促進実行委員会が行うシルバー回数券への助成、ミニ時刻表の作成等の若桜鉄道の利用促進事業や観光ツアーの誘致等の観光振興事業に対して支援を行う。 ②若桜鉄道観光列車運行事業 観光列車「昭和」の整備と、周辺市町と連携したツアー商品の造成やグッズ開発、観光施設等のPRを行う。	<p>【鳥取市】 「若桜鉄道利用促進実行委員会（事務局：八頭町）」が中心となって、イベント助成や観光列車「昭和」を活用した商品開発、通学利用者に対する定期券購入費に対する助成等を実施 【若桜町】 ・シルバー回数券・免許返納者への助成を実施 ・観光列車を活用したツアー造成及びPR活動を実施 ・通学定期の助成を実施 ・ミニ時刻表の全戸配布を実施 【八頭町】 ・ミニ時刻表の作成、全戸配布を実施。また、若桜鉄道沿線各駅で開催されるイベント等への運営助成を実施 ・通学定期の助成を実施 ・観光列車「昭和」、「八頭号」を軸にして、観光ツアーの誘致並びにツアー商品造成等を実施</p>	若桜鉄道の乗客数（人/年）	325,000	410,000	未確定	350,000		○

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住																				
				指標（単位）	基準値（H28）	目標値（R1）	9月末現在値	R1年度末見込																						
74	麒麟のまちを巡る交通網の整備検討事業	ゆめぐりエクスプレスバスなど圏域を移動できる交通機関の整備充実と高規格道路開通を見据えた高速バスの運行を検討する。 ※各事業者との調整、ニーズ把握などを踏まえ事業化を研究。	令和元年第1回交通政策担当者会（5/24）において、圏域内高速バスの検討方法等について意見交換を実施。この中で、兵庫県が試験運行する豊岡ー鳥取高速バス運行について情報共有を行い、検討データとして活用することを決定した。	要望活動数（回）	4	4	1	1	○																					
75	JR鳥取駅周辺の広域交通結節機能の向上促進事業	JR鳥取駅周辺を麒麟のまち圏域の広域交通結節点と位置づけ、施設整備及び機能強化・充実を図る。	鳥取市関係課によるプロジェクトチーム（鳥取駅周辺再整備チーム）の開催（4/10）において、交通結節点としての機能強化に向けた、今後の取組等について協議を行った。	機能強化・充実件数（回）	0	1	1	1	○																					
76	ICTインフラを活用したコンテンツ交流促進事業	各自自治体がコミュニティ番組やデータ放送ならびWebコンテンツ等として保有する、観光・イベントを中心とした地域に密着した情報を圏域内の既存のICTインフラを活用した交流を促進することにより地域活性化を図る。	【鳥取市】 広報番組「とっとり知らせたい！」の中で「麒麟のまち放送局」として提供映像を紹介。毎週1つの町を放送、時間は5分程度。 【新温泉町】 3市町分まとめて毎日繰り返し放送。1日10回程度 【八頭町】 3市町分まとめて毎日繰り返し放送。 【岩美町】 月末の土日に3市町分をまとめて放送。1日2回。	CATVでの相互放送	実施	継続	継続	継続		○																				
77	ICT関係機器・データ等の共同調達事業	関係市町村と連携し、共同でICT関連機器・データ・アプリケーション等の共同調達を行う。※共同調達の対象は鳥取県ICT協議会等での調達対象外となったものなどを対象とする。	鳥取県市町村ICT共同化推進協議会において、当協議会での取り扱い案件の整理がなされた。今後は、当協議会で除外されたシステム等について連携市町と協議し、共同調達の可能性を模索していく。 （R1年度）統合型GISの共同利用をテーマに以下を実施 勉強会の実施（3回）6/27、8/20、10/18 個別意見交換会の実施（各町1回）4/15、4/16 ICT共同化推進協議会（1回）5/16	共同調達案件数（回）	0	1	0	0		○																				
78	武蔵野市家族自然体験交流事業	鳥取県主催の武蔵野市の家族受け入れ（自然体験交流）事業に参画し、地域の特色ある資源を活用した都市との交流事業を実施する。	※隔年実施のため、R元年度事業なし （以下参考：H30事業実績） H30.8.23～8.27に実施し、157名を受け入れ 【鳥取市（河原町・佐治町）】 田舎暮らし体験、魚のつかみ取り、五右衛門風呂、野菜収穫体験等 【岩美町】 海水浴の体験等 【八頭町】 流しそうめん、竹細工作り、新鮮野菜の収穫体験等 【若桜町】若桜鉄道SL体験、鹿革小物製作体験、そば打ち、ウインナー作り、川遊び等	受入人数（人）	175	0	0	0		○																				
79	若者定住促進事業	婚活サポートセンターを活用し、圏域内外の独身男女の出会いの機会を提供する。また、圏域で実施する婚活イベントや婚活サポートの情報共有と事業の連携を行うとともに、若者が集う場の創出を図る。	平成31年3月から「すごい鳥取市！婚活サポートセンター」の会員対象を麒麟のまち圏域に拡大し、新たに「麒麟のまち婚活サポートセンター」として事業開始。毎月、10名程度で行う小規模イベントを3回、20～30名程度で行う大規模イベントを1回実施している。R元年度、麒麟のまち圏域各町での開催イベント実績は以下のとおり。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催町</th> <th>開催日</th> <th>開催場所</th> <th>参加者数</th> <th>カップル数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○岩美町</td> <td>5月26日（土）</td> <td>AL MARE</td> <td>37人</td> <td>6組</td> </tr> <tr> <td>○若桜町</td> <td>7月28日（日）</td> <td>カフェダイニング新</td> <td>22人</td> <td>3組</td> </tr> <tr> <td>○八頭町</td> <td>9月21日（土）</td> <td>オズガーデン</td> <td>20人</td> <td>5組</td> </tr> </tbody> </table>	開催町	開催日	開催場所	参加者数	カップル数	○岩美町	5月26日（土）	AL MARE	37人	6組	○若桜町	7月28日（日）	カフェダイニング新	22人	3組	○八頭町	9月21日（土）	オズガーデン	20人	5組	圏域目標人口（人）	247,429	243,777	238,744	—		○
開催町	開催日	開催場所	参加者数	カップル数																										
○岩美町	5月26日（土）	AL MARE	37人	6組																										
○若桜町	7月28日（日）	カフェダイニング新	22人	3組																										
○八頭町	9月21日（土）	オズガーデン	20人	5組																										
80	お試し住宅利用者へのパスポート発行事業	圏域のお試し住宅利用者に対し、圏域の施設等で割引サービスなどを受けられるパスポートを発行する。	鳥取県が実施している「とっとり移住応援メンバーズカード」を活用し、お試し住宅利用者へのカード加入案内を行い、体験中に圏域での割引サービス等の提供を行う。連携中枢都市、関係町とも協賛店の拡大を図る。	圏域外からのお試し住宅利用件数（件）	135	141	33	71	○																					
81	圏域全体の空家登録バンクの整備・運用事業	圏域全体の「空家登録バンク」情報を共有するとともに、おためし住宅や空家の紹介など、移住希望者へ一体的に情報提供を行うことで圏域全体として移住促進を図る。	各市町の空き家登録一覧を情報共有し、必要に応じて移住相談者に他の自治体の物件情報の提供を行う。（毎月更新）	圏域外からの移住者の内、登録物件へ入居した件数（件）	26	30	18	33	○																					

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標(単位)	基準値(H28)	目標値(R1)	9月末現在値	R1年度末見込		
82	麒麟のまち移住相談会開催事業	都市部で開催される移住相談会への共同参加や、関西情報発信拠点施設「麒麟のまち」などを活用した相談会を共同開催する。	(1)ふるさと回帰支援センター主催の全国規模の移住相談会に合同で出展し、圏域への移住を呼びかけた。 ▼おいでや!いなか暮らしフェア(大阪会場/7月27日/34組62名) ▼ふるさと回帰フェア2019(東京会場/9月7日/28組35名) (2)ふるさと鳥取県定住機構主催の「鳥取来楽暮らしフェア」に麒麟のまち圏域で参加し、主に起業と暮らしについて情報発信した。(大阪/4月20日) (3)関西情報発信拠点施設「麒麟のまち」を活用した移住相談会やセミナーを開催した。(単独開催/鳥取市、智頭町)	各市町への移住者数(人)	368	574	311	645	○	
83	移住体験ツアー開催事業	圏域への移住定住の促進を目的に、圏域を巡る移住体験ツアーを開催する。	11月～3月にかけて、関西圏在住の20歳代～40歳代を主なターゲットとしたワーホリ(宿泊型)を実施する。(No.84の圏域移住促進事業とセットの取組とすることで一貫性を持たせ、移住意欲の喚起等を図る。) ※「麒麟のまち移住促進イベント企画運営業務」公募型プロポーザル審査委員会を経て、10月1日に業務委託契約を締結。	各市町への移住者数(人)	368	574	311	645	○	
84	圏域移住促進事業	圏域への移住希望者に対してセミナーを開催するなど、移住人口増加を図るための取組を実施する。	関西圏に在住する連携中枢都市圏内への移住希望者等を対象とした移住セミナーを11月2日(土)に大阪市内で開催する。(No.83の移住体験ツアー開催事業とセットの取組とすることで一貫性を持たせ、移住意欲の喚起等を図る。) ※「麒麟のまち移住促進イベント企画運営業務」公募型プロポーザル審査委員会を経て、10月1日に業務委託契約を締結。	各市町への移住者数(人)	368	574	311	645	○	
85	広報誌リレー記事掲載事業	連携事業の周知を図る目的で、リレー記事方式で連携他市町の情報を掲載	平成30年12月号～隔月にて連携他市町の情報を「麒麟のまちインフォメーション」として、各市町の広報誌へ掲載。 【掲載内容】イベントや事業への参加者募集、紹介など(圏域住民の交流が深まるもの) 【掲載済】平成31年4月:智頭町、令和元年6月:若桜町、8月:八頭町 【今後掲載予定】10月:岩美町、12月:新温泉町、令和2年2月:香美町、4月:鳥取市	掲載回数(回)	2	2	3	6	○	
86	圏域全体のエリアプロモーション事業	圏域全体のCM作成等の、エリアプロモーション事業を行い、圏域ブランド周知・定着を図ることで、観光客誘致や移住定住の促進つなげる。	○鳥取市が取り組むインターネット放送番組「今夜くらいトットリの話を書いてくれないか」(Youtubeにて配信)において、H31(R1)年度から、麒麟のまち拡大版として、圏域の魅力発信を行う。 ○連携中枢都市圏及び香美町を含む麒麟のまち観光圏域のさらなる一体感の醸成と、ブランディング確立のため製作したロゴマークの浸透を図るため、駅前パード・ハットへ麒麟獅子の日本遺産認定に合わせPRフラッグを設置。 ○ANA総合研究所と連携し、欧・米・豪に誘客層を絞った羽田-鳥取訪日外国人旅行者誘致事業(Odyssey JAPAN)を継続実施。インターネット大手販売事業者であるエクスペディア上での販売並びに広告頒布により、圏域のPRを行い路線販売実績を増加をめざす。 ○8月27日より麒麟のまち観光圏域の魅力を紹介するトラベルウェブマガジン「旅色」(女優の貫地谷しほりさん出演)を麒麟のまち観光局をはじめ各市町公式ホームページで公開し、魅力発信を行っている。	圏域への観光入込客数(人)	4,764,000	5,625,000	4,993,000人(H30年度) 鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしているが、県の発表が毎年8月頃。		○	
87	合同職員研修事業	圏域内職員の資質・能力向上を目的に、合同で職員研修を実施する。また、各市町で実施する独自研修、講演会等の情報共有を図り、相互に職員の受け入れを可能とする体制をつくる。	合同職員研修実施状況 ①OJT研修 8/1参加者117人(市52人、町37人) ②CS(住民満足度)向上研修 9/18参加者89人(市46人、町43人) ③新規採用職員研修 11/25開催予定 ④接遇研修 11/29開催予定	圏域内全職員数に占める合同職員研修受講者割合(%)	23	25	7	12		○

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (R1)	9月末現在値	R1年度末見込		
88	職員交流検討事業	圏域内職員の行政マネジメント能力向上、専門分野の知識習得、情報共有のため、各市町の先進的な取組を学ぶ機会（勉強会等）を設ける等の人事交流の実施を検討する。	合同職員研修担当者会（職員交流検討会） 秋の定例の担当者会の中で、各専門分野ごとの勉強会等の実施による職員交流について検討予定	検討会議の開催（回）	0	1	0	1	○	
89	麒麟のまち圏域地域おこし広域隊設置事業	・麒麟のまち圏域全体を活動範囲とした「地域おこし協力隊」の設置。 ・各市町の地域おこし協力隊員とのネットワークを構築し、各市町の抱える諸問題に対応しつつ、圏域全体の活性化の取組などの強化を図る。（H30年度：導入検討、H31～1名導入）	【鳥取市】 11月に担当者会及び隊員の情報共有連絡会を開催予定	隊員による圏域の各種情報等の情報共有連絡会の開催回数（回）	0	4	0	1	○	
90	公共施設点検研修の共同実施事業	圏域市町の施設管理担当職員を対象に、公共施設点検研修を実施する。	各自治体における建物点検、住民の安全確保に役立てていただくことを目的として、鳥取市の技術職員による『事務職員でも実施可能な建物点検についての実地研修』を実施 実施日：令和元年5月21日、22日、23日 場 所：鳥取市人権交流プラザ、美穂地区公民館 参加者：43人（うち岩美町4人、八頭町2人、智頭町1人）	公共施設点検研修の実施回数（回）	2	2	3	3	○	